



シーズ名

接合金物の見えない木造立体トラス構造

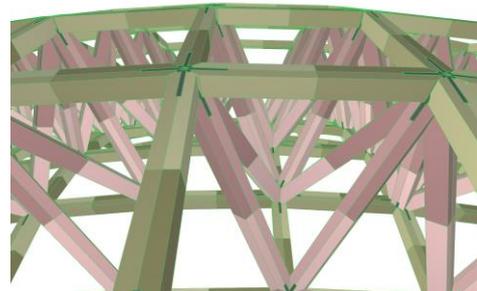
氏名・所属・役職

谷口与史也・工学研究科・教授

<概要>

従来の木造の立体骨組構造では、ボールジョイントを用いて、複数の木材を連結していた。このボールジョイントは、一般的に、鋼等の金属製であり、立体骨組構造体の内部に隠れることはなく、外部に露出した状態で各骨組部材を連結しています。そのため、ボールジョイントを用いて構築される立体骨組構造は、外観上、木製の部分と金属製の部分とが現れることになり、全体的に木造の雰囲気醸し出すことができないという問題点があります。そこで、この金属部分を外観上現れないようにするために、木材の横断面を互いに直接接着させる接合部システムを開発しました。

【特願 2016-227629 (株)山長商店と共同開発】



金物見えない木造トラス(イメージ)



実物

<アピールポイント>

木の美しさを表現し、森林資源保護に貢献、優れた機能性、低コスト等を特長とする軸力系の新しい木接合技術の開発と普及のために！

<利用・用途・応用分野>

小規模(スパン20m程度まで)な無柱空間

小学校の多目的室、体育館、公民館など



木造トラスのイメージ図

キーワード

木造トラス、ドリフトピン接合、木材の接触接合、プレカット